

「自分でやってみよう ; HOUSE CLEANING」 雑感

1. 掃除が身に付いたのか

小学生の頃は、家の掃除を時々やっていました。学校では廊下、教室の床の雑巾がけ、窓ガラス吹きをやっていました。高校になって、帰り掛けに机を後ろに片付けて掃き掃除をやっていたことを記憶しています。掃除は社会人になっても事務所、工場の現場など、必要に応じてやってきました。今も家の外、内と掃除をやっています。掃除は苦になりません。身に付いてしまったのか

2. 掃除のやり易い家具の配置

掃除は道具を使います。掃除機、モップ、フローシート、回転式水拭きモップ、雑巾などなどです。家具を置く場合、家具の後ろの埃が気になります。家具は壁ピタでなく、掃除道具が届くようにできるだけ隙間を設けて置いています。物入れ、観葉植物の鉢置きなどは、掃除の時に移動し易いようにキャスター付きにしています

3. 毎日掃除が良いのか

毎日掃除を心掛けると、毎日時間を取られますが、埃が積もっていない分、楽に掃除ができる感じがします。掃除機を掛けた翌日はモップとか掃除の仕方をサイクリックにしています

4. シミ落としは悩みます

汚れが付いていると、シミ落としに使う洗剤に何を使うか、考えることがあります。油の汚れなど特に玄関の外の床のシミ落としに躊躇することがあります

5. 私は納屋理論と呼んでいます

私の家にも、農家であったので納屋がありました。農機具、藁、ムシロ、野菜、燃料など種々雑多なものが置いてありましたが、どんな置き方をしても汚れていても気になりませんでした。しかし家庭内ではある場所を綺麗に整えるとその隣が気になってきます。埃が付いていればもちろん気になります。綺麗に整えればますます気になるアイテムが増えて、エスカレートしてきます。いつまでも安閑と暮らせません。家庭でも納屋のように気にならないようになったらいいなと思う今日この頃です。納屋はいいなと思います

6. 掃除はピカピカを感じます

掃除をして物から埃を取り除けば、光の反射が強くなり、明るくピカピカに感じて来ます。よくマンガにピカピカの光が描いてありますがまさにその通りになって来ると感じています